地域ケア会議（自立支援型ケア会議）とは？

・関係者が自立支援の考え方を共有し、地域の高齢者のＱＯＬ向上のために取り組む会議です。

・多職種の知見を活用して、個々の生活課題の解決に向けた支援を検討する会議です。ケアプランを多職種の助言のもと、高齢者の生活課題の解決に向け取り組む場となり、関係者が協力して自立支援の視点でケアマネジメント力を高めていきます。

・困難事例と違い、軽度支援者について短時間で検討することで、効率よく個々の支援検討や改善を行い、共通する課題に対する介護予防の検討につながります。

・多職種（専門職や社会福祉関係者）が参画し、医療・介護サービス、生活環境、生活習慣の改善、生活上の工夫、社会参加など様々な視点から具体的な支援策を打ち出すことができます。公的サービスだけでなく、地域での解決方法を検討します。

・会議における個別の検討を積み重ね、その経過で地域課題が明確になり、課題解決に向け市町村が施策として取り組むことができます。

福智町の今年度の自立支援型ケア会議は22事例の検討を予定しています。

１事例30分程度で検討を行います。タイムスケジュールは次のようになっています。

・開会あいさつ、会議の流れの説明（２分）

・資料読み込み（５分）

・事例発表（６分）

　介護支援専門員から事例の紹介、

サービス提供事業所の方からサービス計画や本人の様子について報告をお願いします。

・質問・助言（15分）

　多職種（理学療法士、作業療法士、管理栄養士、歯科衛生士等）から、

質問や助言を行います。

・地域課題のまとめ（１分）

・感想、まとめ（２分）

　最後に介護支援専門員，サービス提供事業所の方から感想をお願いします。